

保護者の皆様

いつも当園の幼児教育についてご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。また、昨年末に実施しましたアンケートに際しては、お忙しい中ご回答いただきありがとうございました。

遅くなりましたが集計を終え、今現在できる範囲で回答しております。どうぞご覧ください。今後もより良い保育を目指して邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

苫小牧聖ルカ幼稚園 園長 小貫多喜子

2024 年 1 月 20 日

2023 年度幼稚園の教育について保護者へのアンケート結果と園の対応

園児数 92、世帯数 76、アンケート回答数 73（3-5 歳 60、0-2 歳 11、無回答 2） 回答率 96%

回答 << A…はい / B…どちらともいえない / C…いいえ >>

	質問事項	評価A	評価B	評価C
お子さまは	① 幼稚園に安心して楽しく通えている	71	2	0
	② 基本的な挨拶ができる	56	15	2
	③ 園での生活を楽しかったと言う	62	11	0
	④ 園に来てから力が伸びたと感じる	69	4	0
	⑤ クラスの担任を頼りにしている	65	6	2
	保護者さまより／園の回答			
	・まだ落ち着きがなく、いざと言う時に恥ずかしくなって声が小さくなっちゃったりするところ			
	・内弁慶なところ			
	お子さんに関する心配や不安が感じられた場合は、気軽にご相談ください。			
	人前が苦手であることや恥ずかしさで堂々とできなくなるのは多くのお子さんに見られる姿ですし、悪いことでもありません。これらは様々な活動を通して成功体験を積み上げていく中で自信をつけられることもあるので、どのお子さんに対してもそういった機会が多くもてるようにと願いながら関わったり、活動内容を考えたりしています。			

	① 子育ては楽しい	62	11	0
	② 子育ての相談相手(協力者)がいる	67	6	0
	③ 子どもと触れ合う時間を大切にしている	67	6	0
	④ 規則正しい生活を心掛けている	67	6	0
	⑤ お子さまに忘れ物がないか確かめている	57	14	2
	⑥ 挨拶や身の回りの事など基本的な生活習慣を身につけさせている	59	14	0
	⑦ 毎日、洗顔・歯みがきをさせている	61	12	0
	⑧ 幼稚園の行事や活動などに積極的に参加している	65	8	0
	⑨ 安心してお子さんを預けることができている	70	3	0
	保護者さまより／園の回答			

保護者の皆さまは

- ・娘が幼稚園でちゃんとやっているのかが心配。
- ・周囲へ迷惑をかけていないか不安があります。

心配事がある時はいつでも遠慮なくご相談ください

- ・担任が変わってから引き渡しの時に一日の様子を何も教えてくれなくなった。どう過ごしていたのか知りたい。

現在、クラスごとに日々の様子はルクミーで配信しています。個別の様子をこまめにお伝えすることは難しいところがありますが、良くも悪くも特別な出来事があった時は努めて個別連絡するようにしています

- ・子どもの発語が少ないので、もっと園での活動を保護者が見る機会があればとても嬉しいです。(帰りはバスを利用しないことが多々あるので…) また、園の行事ごとについて、ルクミー等を通して、事前に服装について(夏のお祭りは甚平を、ハロウィンも何か衣装を着て行ってもいい等) 連絡いただけたらいいなと思いました。

昨年まではコロナ禍という難しさがありました。今後見学可能な日を増やすことに前向きな検討をし、決まったことは周知させていただきます

行事ごと服装の依頼は時と場合によって違います。クラス発表でそろえる必要がある場合は準備のお願いをさせて頂くことがあります、必要性のない場合は特に呼びかけいたしません。基本的に、一度きりのためにわざわざ購入をお願いすることや過度におしゃれしていただくことは望みません。おしゃれできるお子さんがいる一方で、それが叶わないお子さんに悲しい思いを抱かせてしまうこと、経済的に厳しいご家庭にご負担おかけすることにならないようにと考えます

- ・地震の時の避難場所を心配しています。文化会館の2階広場では大きい津波が来た時に低いのではと感じます。津波予想次第で市役所にと言っていましたが結構距離がありますし小さい子供達を沢山連れて訓練もしていないのにいざと言う時に迅速に行動出来るか疑問です。津波予想は第一報とは変わるの東日本大地震で学びましたし、最初から保健センターの屋上や市営住宅の屋上など設定出来ないのでしょうか？

津波の場合、近隣の建物で最も安心できる避難場所が市役所という考えは今も同じですが、あくまでも時間的にゆとりがある場合のことで、何が何でも市役所というわけではありません。もちろん、保健センター、裁判所、近隣の高層市営住宅も避難場所を含めて考えております。地震のみの場合は大きさにもよりますが、幼稚園での避難が基本で、それが困難な時は東小中学校へ避難することになります。

① 子どもに温かい言葉遣いや優しい態度で接している	70	3	0
② 清潔感のある身なり、節度ある行動がとられている	73	0	0
③ 一人ひとりの個性を大切にし、意欲や自信を持たせている	69	4	0
④ 子どもにとって楽しんで遊べる環境の工夫をしている	70	3	0
⑤ 避難訓練や安全指導(交通安全・防犯)などで子どもが安全に対する意識を持つよう努めている	70	3	0
⑥ 外部侵入者対策をしている	65	8	0
⑦ 「ごはんちゃん」「ぼてルカ畑」を通して食育への関心を高めるようにしている	71	2	0
⑧ 「森のようちえん」「園外保育」などを通して自然に親しめる環境を整えている	70	3	0
⑨ こども聖歌隊スマイル、季節の歌などを通じた音楽教育について	61	12	0
⑩ 個人懇談の内容は有意義である	65	7	1
⑪ 未就園児登園・子育て相談・預かり保育などの子育て支援を行なっている	60	8	5
⑫ 園の情報を「聖ルカだより」「クラスだより」「ルクミー」を通してわかりやすく伝えている	66	6	1
⑬ 園の職員としてまとまりがあり情報の共有がされている	59	12	2
保護者さまより／園の回答			
・森の幼稚園は熊が心配です。 ・最近熊の出没が増えているので、森のようちえんは希望者のみの活動にし（危険対策マニュアル等を作成し要検討）、全園児対象の自然に親しむ活動としては苫小牧市内の公園に散策に出かけると活動の幅が広がると思います。 熊出沒への不安感は理解できます。本当に危険な時は北大研究林管理棟からその旨の連絡があって中止することになります。いつも大丈夫ということは保証できませんが、そういうことがない限り森のようちえんは実施いたします。当園にとって自然教育は大事な取り組みと位置付けており、実際に森の中へ足を踏み入れなければ遭遇することのできない貴重な体験、美しい自然の中に潜む危険も含めた生命の尊さ、季節を通じた命の循環などどれも大切な教育と考えます。活動エリアや実施の有無については状況を見ながら臨機応変に対応していきます。「森の幼稚園の活動」に関わる対策を保護者さまにもしっかり周知させることが大事ですね。今後そのように心掛けていきます。ご意見やご提案に感謝いたします。参加方法についても検討させていただきます ・バス登園ですがルクミーの打刻、干支選ぶのが煩わしいです。 ・ルクミーが使いづらい。お便りは紙で欲しい。 ・給食便りを今まで通り紙でいただけるとありがたいです。スクショしてありますが、スマホを開いてスクショした画像を開いて給食を見るまでの作業が多くて見る事が無くなってしまいました。紙の時は毎日確認していました。ご検討をよろしくお願いいたします。 ・給食メニューがアプリに掲載されてから、確認がしづらくなった。 ルクミー登降園打刻へのご意見ありがとうございます。当園としてもシンプルに QR コードをかざすだけを期待していましたが、誤算でした。新しい機能の導入は園としても未だ戸惑いながらのことが多く、保護者の皆さまにもご迷惑をおかけしている点、本当に申し訳なく思っておりますが、登降園管理をしっかりしていく上で必要な機能ですので、慣れるまでの当面はご了承くださいますようお願いします SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標の中で幼稚園としてできることを積極的に取り組			

みたいと考えています。身近なことでは紙媒体を減らします。環境問題である地球温暖化を促進させないために「紙の削減＝ゴミを出さない＝二酸化炭素の排出を抑える」「節電＝二酸化炭素の排出を抑える」です。地球温暖化は他人ごとではなく、小さな取り組みでも多くの人が意識して行うことで大きな意味があると思いますので、何卒、ご理解とご協力をよろしくお願い致します

- ・以前より園の様子が保護者に伝わりにくく、保護者の意見が園に届きにくくなったと思います。マラソン大会やリズム体操、メロディオン練習など、様々な活動がなくなったり少なくなっている、子供にとって良い活動は続けて欲しい。

体を動かす活動、芸術に取り組む活動を増やして欲しい（マット運動や跳び箱、鉄棒等の器械体操、なわとび、絵画、工作、書道など）。

園の様子、保護者様の意見が届きにくいなどについて、以前とどう違うのかを具体的に教えて頂きたいと思います

当園教育の柱はしおりに記載された内容です。9～10月は3歳児以上のクラスがプール、年長は更にスケート、そしてマラソンもプラスされることで運動に偏り体力への過度な負担、時間も取られていました。ひたすら長距離をぐるぐる走らせることよりも、戸外活動や日々の外遊びでも思いきり走ることで体力づくりを補うことは可能です。その時期にしか体感できない季節を感じる、秋を楽しむ時間を大切にすることを優先しました。十分に検討を重ねた決断です。また、当園は運動に特化しているわけではありません。それでも、保育の中で鉄棒や縄跳びや平均台等の運動を遊びや保育の中で行っています。年長になれば竹馬にも取り組みます。リズム遊び、子ども聖歌隊で毎週歌を歌い、絵画や製作にも取り組んでおります。幼児期の子どもにとって最も大切なのは遊びこむこと。様々な遊びの中で人間関係、状況判断、危険の予測、相互の距離感、社会性、模倣、規則、運動機能、聴く力、見る力、あらゆる育ちに繋がります

- ・補助の先生等、人員不足の関係で難しいのかもしれませんが、できれば預かり保育は緊急性がなくても受け入れてほしいです。そんなに頻繁に頼もうとは思っていませんし、先生方がご多忙なのも分かりますが、預けるのに逐一理由を訊ねられると預けにくいなと思ってしまいます…。

また、行事について、もっと保護者が参加できる機会を増やしてほしいです。人での必要なら、その時のために役員が居るのではないのでしょうか。コロナ禍中は行事が少なくても仕方がない面がありましたが、今はどこの園でも行事はコロナ禍以前の状態に戻っていると聞いています。来年度に期待しております。

当園はハンディキャップのお子さんも複数人受け入れていることからできるだけ手厚い保育を目指し、日中働く職員数は通常よりも多めだと思います。しかしここ数年で就労希望の保護者は増加傾向で定員を上回っており、保育を必要とするお子さんが増えています。定員に合わせた職員配置を行っていますが、預かり保育の安全確保上受け入れ人数にも限界があります。無条件の受け入れは現段階では困難です。基本的には保育を要する理由あつての預かり保育であり、友達とのランチ、お茶会、ショッピング等の理由による預かりは不可ですので、お子さんの降園までの時間帯にお願いします

- ・アプリで、子どもたちの様子や成長、先生たちの願いを知ることができ、とても嬉しく安心している。

ありがとうございます。今後もアプリを有効活用し皆様への情報提供に努めてまいります

- ・クラスの先生に加え、園長や主任、バス添乗の先生も、子どもの様子を伝え温かく声をかけてくれるので、先生たちの温かさを感じ安心している。
- ・どの先生も明るく優しくて雰囲気の良さをいつも感じています。

行き届かない点が沢山あることも承知しております中、温かいお言葉を頂戴し、職員一同にとって励みになります。ご指摘、ご意見等ありましたら遠慮なくお申し出ください。今後も子どもたちのことを一番に考えながら、質の良い保育を向上させるよう努めてまいります

行事について	① 運動会	64	7	1
	② 夏まつり	57	12	2
	③ 遠足	60	9	3
	④ クリスマス会	64	5	1
	保護者さまより／園の回答 ・ 行事はできるだけ土日でお願いしたいです。 お仕事されている2・3号の保護者さまのことを考えると週末が望ましいとは思っておりますが、多角的な視点で決定していきたいと思います ・ 先生方既に忙しいと思うが行事は少ないなと感じる。 あまりにも行事が多いと子どもたちの取り組みが中途半端になったり、内容が浅くなったり、習得しきれないまま新たなことを始めるのは子どもたちに負担がかかってしまいます。一つの大きな行事で個々が堂々と自信をもって発表できるよう見通しをもって、日々の保育に関連付けながら丁寧にステップを踏んでいます ・ 朝の幼稚園バスに乗ってる先生がクラスの先生ではないため、顔と名前が一致せず、うろ覚えになってしまっています。親子で認識して覚えたいので、名札もしくはおたよりなどで顔と名前がわかるようにしていただけたら嬉しいです。 そうしなければと思いながら実践できておりませんでした。ご希望の対応を前向きに検討いたします ・ 運動会で1列目にレジャーシートで席取りをし、シートの上に椅子を並べて応援しているご家族がいました。2列目以後とても見えにくかったので、運動会案内のプリントに一言マナーについてお書き添えいただけたら嬉しいです。 撮影マナーについては記載させて頂きましたが、座席確保、観覧方法についてより具体的にお示しすること心がけます ・ いつも愛情いっぱいありがとうございます。コロナ禍で仕方ない事だとは思いますが、子どもと一緒に幼稚園で食事ができる機会が増えたら良いなと思っています。 ・ 誕生日以外にも参観日があったら嬉しいです 検討させて頂きます ・ 運動会やクリスマス会などの際には、予行も少しチラ見できたら嬉しいです。時期的にも、予行に参加できたからと言って本番にも参加できるとは限らないと思います。 遠足は来年からは保護者も参加できると嬉しいです。(ぺんぎんさんは今年は天候の関係で、保護者参加の森のようちえんも無かったに等しいですし…) 検討させて頂きます ぺんぎん組の森のようちえんの時の悪天候に見舞われた際の切り上げ方についての意見です。 当日、解散を1番に全体に告げたのが補助の先生だったと記憶しています。それを聞いた保護者の方々がバラバラと解散し始めたのですが、号令を出すべきは担任の先生であり、補助の先生は大声で「解散です!」と言うのではなく、担任に号令を出すように助言するにとどめるべきだったのではないのでしょうか。主任の先生が担任に駆け寄るのが見えたので、全体が見えていてさすが頼りになるベテラン先生だなと思いました。 貴重なご意見に感謝します。今後しっかり意識してクラスの役割を確認してまいります 年始からは主任先生がいるか組に入るとお便りで見ました。主任は、どこかの学級に固定で入るのではなく、フリーで年少～年長組全体を見てほしいなと思っています。担任も他学年の先生もお若いのに知識が豊富でとても頼りになる先生たちばかりです。いち保護者として、先生方を応援しております。いつもありがとうございます。			

ご意見に感謝します。既に聖ルカだよりでお知らせしたもののから最終的には体制が変わっております。もともとしっかりクラスに入るのではなくサポートという意味でお知らせしたつもりではありましたが、新たに保育教諭が加わり安心していただける体制に改編しております。これからもご支援よろしく願いいたします

- ・登降園の干支の inputs が両親しか出来ないのを改善して欲しい。

保護者さま以外では祖父母の方をご希望なのでしょうか？どうしても必要でお困りの方は直接幼稚園までお申し出ください

- ・参観日についてですが、森のようちえんに参加するのではなく日常生活の様子を見たい保護者の方が沢山いるのではないのでしょうか。親も長靴や持ち物を揃えたりなど大掛かりなものではなく、気軽に参観が出来る日を作ってほしいです。研究林は親の仕事が休みの日に子どもと遊びに行けますし、親が見たいのはどんなお友達とどんな遊びをしているのか普段見られない部分です。誕生礼拝は良いと思いますが子どもの動きが見られませんか、誕生礼拝後の遊び時間を見せてもらえましたが時間が短く物足りなさを感じます。昨年のアンケートにも同じような意見がありましたので次年度から実施されても良いのではないのでしょうか。

検討を重ねて改善に努めてまいります

- ・クリスマス会、先生方、本当にお疲れさまでした。我が子の成長が見れて嬉しかったです。ですが、学年によって、男女によって、ダンスの難易度が違うように思いました。男女別に分けるのではなく、1学年ごとに2グループに分ける（子どものやりたい方のダンスを踊る）というのではいけないのでしょうか？

また、夏祭り・遠足などの行事では、保護者も参加できるならしたいと思っています。（役員しか参加できないのであれば、役員します！）

貴重なご意見有難うございます。検討してより良い形をご提案できるようにしたいです

- ・いつも温かいご指導ありがとうございます。聖ルカ幼稚園に通うことが出来て本当に良かったです。
- ・いつも親も子どもも楽しい行事をしてくださり感謝しかありません。
- ・いつもいつも柔軟に対応していただきありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます
- ・いつも園での様子を細かく教えてもらえて安心しています。子供は先生方大好きで、登園降園バスでは今日は誰かな？と毎日楽しみにしています。聖ルカに入れて良かったなと思います。これからもよろしくお願いします。
- ・毎日安心して、子どもを園に送り出しています。
親である私たちよりも長く子どもを見守っていてくれて、感謝しております。
今後たくさんご迷惑おかけすると思いますが、引き続き末永くよろしくお願いいたします。
- ・いつも色々配慮して頂いているので、安心して園に行かせることが出来ています。ありがとうございます。

私たちの大きな励みになる温かいお言葉を頂戴し感謝します、これも一重に皆さまのご理解とご協力に支えられた上での聖ルカ幼稚園です。これからも子どもたちのことを最優先に考えて、保護者の皆さまと一緒にお子さんの成長を喜び合えるよう愛情いっぱいに関わり、日々の保育を省みながら精進してまいります。